キャッシュ・フロー計算書の注記事項

1．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	7,755,390,557円
定期預金	△2,090,000,000円
資金期末残高	5,665,390,557円

2．重要な非資金取引

⑴　無償譲与の受入による資産の取得

工具器具備品	129,727,376円
図書	11,822,927円
合計	141,550,303円

⑵　リース契約による資産の取得

工具器具備品	2,022,405,840円

重要な債務負担行為

債務負担行為の名称	契約金額等
1．医薬品　大塚生食注ＴＮ（生理食塩液）　100ml　大塚製薬　40本　外11件 （９月までの単価契約、購入した医薬品について１ヶ月分を取りまとめて支払う。）	76,249,000円（予定金額）
2．医薬品　パリエット錠　10mg　エーザイ　700錠　外９件 （９月までの単価契約、購入した医薬品について１ヶ月分を取りまとめて支払う。）	59,101,000円（予定金額）
3．医薬品　アルツディスポ間接注　25mg　科研製薬　10筒　外17件 （９月までの単価契約、購入した医薬品について２ヶ月分を取りまとめて支払う。）	61,852,000円（予定金額）
4．医薬品　エトキシスクレロール１％注射液　30ml　カイゲン　Ⅳ　外35件 （９月までの単価契約、購入した医薬品について１ヶ月分を取りまとめて支払う。）	118,346,000円（予定金額）
5．医薬品　アリセプトＤ錠　５mg　エーザイ　140錠　外49件 （９月までの単価契約、購入した医薬品について１ヶ月分を取りまとめて支払う。）	115,739,000円（予定金額）
6．医薬品　プロハンスシリンジ　13ml　エーザイ　５筒　外40件 （９月までの単価契約、購入した医薬品について１ヶ月分を取りまとめて支払う。）	127,217,000円（予定金額）
7．医療用Ｘ線フイルム　直接用オルソフィルム　ノー・インターリーフ　１箱　四ツ切　外９件 （単価契約、購入した医薬品について１ヶ月分を取りまとめて支払う。）	68,481,000円（予定金額）
8．放射性医薬品　放射性クロム酸ナトリューム　注射液18.5MBq　外134件 （単価契約、購入した医薬品について１ヶ月分を取りまとめて支払う。）	111,186,000円（予定金額）
9．血液製剤　人全血液「日赤」　容量200ml　外44件 （単価契約、購入した医薬品について１ヶ月分を取りまとめて支払う。）	125,297,000円（予定金額）
10．富山大学附属病院外来診療科等受付・診療録及びＸ線写真管理等業務	105,840,000円
11．富山大学附属病院医事業務請負	94,374,000円
12．富山大学杉谷キャンパス建物清掃業務請負	63,000,000円
13．灯油　ＪＩＳ　１号（単価契約）	119,196,000円 （39,732円／kl×3,000kl）
14．富山大学中央機械室運転監視等業務	74,550,000円
15．富山大学附属病院ＥＳＣＯ事業	57,473,000円
16．富山大学解剖棟解剖実習室換気設備改修工事	81,900,000円
17．富山大学寺町団地学生寄宿舎耐震改修工事	72,240,000円
18．富山大学附属病院病棟新営その他工事	1,094,490,000円
19．富山大学附属病院病棟新営電気設備工事	296,397,000円
20．富山大学附属病院病棟新営機械設備工事	493,863,000円

固定資産の減損に係る注記事項

減損の兆候が認められた固定資産

1．伏木宿舎（土地）

⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

①用途　福利厚生用

②種類　土地

③場所　富山県高岡市

④帳簿価額　110,100,000円

⑵　認められた減損の兆候の概要

・当該土地の上に建築されている宿舎の入居者数が承継時と比較して減少し、当該宿舎の稼動率が著しく低下しているため、減損の兆候があるものと判断しました。

⑶　「固定資産の減損に係る国立大学法人会計基準」及び「固定資産の減損に係る国立大学法人会計基準注解」（以下「減損会計基準」という。）「第４　減損の認識」２に掲げる要件を満たしている根拠

・当該宿舎は現在、稼働率・入居率が低下していますが、保守管理が恒常的に行われており、かつ、今後の利用計画の中で将来の使用稼働を見込んでいることから減損を認識していません。